



1. 学科課程

学科専門教育科目

	履修コード	授業科目 (クラス)	配当年次・開講期・単位数				担当者	備考
			1年以上履修可	2年以上履修可	3年以上履修可	4年以上履修可		
			前通後	前通後	前通後	前通後		
学科基礎科目	5501	基礎経済学 (A)	2				山 邑 紘 史	
	5502	(B)	2				上 口 晃 昇	
	5503	法情報学	2				齊 藤 正 彰	
	5721	法学入門	2				長 屋 幸 世	
	5504	企業法入門		2			足 立 清 恒 規	
	4006	会計入門 (B)	2				竹 田 東 尚 美	
	4003	マネジメント入門 I (B)	2				伊 松 本 康 郎	
	5507	法哲		2			岩 本 雅 一 郎	
5508	法と経済	2				増 田 辰 良		
基礎力養成科目	5701	基礎力養成塾 I	2				秋 森 弘	
	5703	基礎力養成塾 II (A)	2				足 立 清 人	
	5704	(B)	2				足 立 清 人	
	5705	基礎力養成塾 III	2				伊 東 尚 美	
	5707	基礎力養成塾 IV (A)	2				萩 原 浩 太	
	5708	(B)	2				萩 原 浩 太	
	5709	基礎力養成塾 V	2				山 邑 紘 史	
	5711	基礎力養成塾 VI	2				篠 田 優 規	
	5713	基礎力養成塾 VII	2				竹 田 恒 規	
	5715	基礎力養成塾 VIII	2				長 屋 幸 世	
	5717	基礎力養成塾 IX	2				上 口 晃 昇	
	5719	基礎力養成塾 X (A)	2				増 田 辰 良	
5720	(B)	2				増 田 辰 良		
演習科目	5541	演習 I (A)		4			増 田 辰 良	I・II 合同開講 2017年度開講せず
	5542	(B)		4			篠 田 優 規	
	5543	(C)		4			岩 本 一 郎	
	5544	(D)		4			秋 森 弘 人	
	5545	(E)		4			足 立 清 人	
		(F)		4				
	5547	(G)		4			伊 東 尚 美	
	5548	(H)		4			竹 田 恒 規	
	5549	(I)		4			山 邑 紘 史	
	5550	(J)		4			上 口 晃 昇	
	5551	(K)		4			萩 原 浩 太	
	5561	演習 II (A)			4		増 田 辰 良	
	5562	(B)			4		篠 田 優 規	
	5563	(C)			4		岩 本 一 郎	
	5564	(D)			4		秋 森 弘 人	
	5565	(E)			4		足 立 清 人	
	5566	(F)			4		長 屋 幸 世	
	5567	(G)			4		伊 東 尚 美	
	5568	(H)			4		竹 田 恒 規	
	5569	(I)			4		山 邑 紘 史	
5570	(J)			4		上 口 晃 昇		
5571	(K)			4		大 原 昌 明		
5572	(L)			4		松 本 康 郎		
5573	(M)			4		萩 原 浩 太		
5581	演習 III (A)				4	増 田 辰 良		
5582	(B)				4	篠 田 優 規		

	履修コード	授業科目 (クラス)	配当年次・開講期・単位数				担当者	備考
			1年以上 履修可	2年以上 履修可	3年以上 履修可	4年以上 履修可		
			前通後	前通後	前通後	前通後		
演習科目	5583	演習 III (C)				4	岩本一郎	2017年度開講せず 2017年度開講せず
	5584	(D)				4	秋森弘	
	5585	(E)				4	足立清人	
	5586	(F)				4	長屋幸世	
	5587	(G)				4	伊東尚美	
	5589	(H)				4		
		(I)				4	山邑紘史	
		(J)				4		
	5591	(K)				4	大原昌明	
	5592	(L)				4	松本康一郎	
5593	(M)				4	萩原浩太		
学 科 目	5615	モダン・エコノミクス	2				増田辰良	
	5723	マクロ経済学(情法)		4			上口晃史	
	5724	ミクロ経済学(情法)			4		山邑紘史	
	3053	経済統計学		4			澤田裕史	
	5617	経済数学(情法)		4			山邑紘史	
	3124	計量経済学		4			山修震	
	5726	証券論	4				秋森弘	
	5727	企業金融論		2			森島直樹	
	5135	国際金融論		2			秋森弘	
	5606	金融システム論			2		秋森弘	
3055	金融論			4		秋森弘		
5728	金融・財政分析実習学		2			上口晃史		
5729	財政学			4		上口晃史		
二 一 目	4013	マネジメント入門 II	2				多田和美	集中講義 集中講義
	5124	経済政策論		4			増田辰良	
	5747	規制と競争の経済学		2			増田辰良	
	5634	北海道経済論(B)		2			斉藤正広	
	3091	国際経済学			4		竹野内真樹	
	3077	中小企業論			2		中島隆	
	5731	経済・経営分析実習		2			星野克紀	
	5641	憲法 I [人権]	4				岩本一郎	
	5642	憲法 II [統治機構]		4			岩本一郎	
	5733	刑事法 I [刑法総論]			2		竹信航介	
5734	刑事法 II [刑法各論・刑事訴訟法]				2	城下裕二		
5657	メディア法				2	岩本一郎		
5658	国際人権法				2	岩本一郎		
ト 目	5653	行政法 I [行政法総論]			4		竹田恒規	
	5654	行政法 II [行政救済法]			4		竹田恒規	
	5655	地方自治法				2	竹田恒規	
	6148	租税法			2		竹田恒規	
	6511	社会保障法				2	林健太郎	
科 目	5671	民法 I [民法総則・物権]	4				篠田優人	99ページの注を参照のこと
	5736	民法 II [債権各論]		4			足立清人	
	5737	民法再入門		2			篠田優人	
	5738	民法 III [不法行為]			2		足立清人	
	5674	民法 IV [債権総論]			2		足立清人	
	5675	民法 V [担保物権]			2		足立清人	
	5676	民法 VI [親族]				2	足立清人	
	5677	民法 VII [相続]				2	篠田優人	
目	5681	商法 I [商法総則・商行為法]			4		伊東尚美	
	5682	商法 II [会社法]			4		伊東尚美	
	5684	金融取引法				2	足立清人	
	5141	経済法				4	萩原浩太	
	6146	労働法 I			2		林健太郎	
	6147	労働法 II			2		林健太郎	

	履修コード	授業科目 (クラス)	配当年次・開講期・単位数				担当者	備考
			1年以上 履修可	2年以上 履修可	3年以上 履修可	4年以上 履修可		
			前通後	前通後	前通後	前通後		
司法実務	5739	手続法基礎論		2			長屋幸世	
	5691	民事訴訟法			4		長屋幸世	
	5692	民事執行法				2	長屋幸世	
	5693	倒産処理法				2	長屋幸世	
学科ユニット科目	4016	簿記原簿記 I (B)	2				松本康一郎	
	4201	簿記原簿記 II		2			松本康一郎	
	4204	簿記原簿記 III			2		松本康一郎	
	4206	会計学 I		2			高木裕之	
	4207	会計学 II			2		松本康一郎	
	4211	原価計算 I		2			大原昌明	
	4212	原価計算 II			2		大原昌明	
	4213	管理会計 I				2	大原昌明	
	4214	管理会計 II				2	大原昌明	
	4215	国際会計 I				2	松本康一郎	
	4216	国際会計 II				2	松本康一郎	
ユニット履修科目	5741	応用経済学特別講義		2			増田辰良	隔年開講 集中講義 2017年度開講せず
	5742	先端法律学特別講義 経法総合講義文 業論	2			4	増田辰良	
教職科目	3127	国際政治学			4		中村研一	
	6405	現代政治学		2			中村研一	
	3141	地誌概説		4			小野有五	
	3140	地理学		4			小野有五	
	3142	自然地理学		4			下川和夫	
	3136	日本史 (経部)		4			平井廣一	
	3137	世界史 I (経部)		4			横川大輔	
	3138	世界史 II		4			中村一浩	
	3143	宗教学 (A)		2			堀雅彦	
	3144	(B)			2		堀雅彦	
	3145	(C)		2			堀雅彦	

注 「民法再入門」は、2年次については、「民法Ⅰ」不合格者が履修可。3年次以上については、「民法Ⅰ」「民法Ⅱ」の両方またはいずれかの未修得者が履修可。



2. 卒業に必要な単位

1. 大学共通科目

31～42ページを参照のこと。

2. 外国語科目の単位認定

161・162ページを参照のこと。

3. 卒業論文

139～141ページを参照のこと。

(A) 大学共通科目¹

大学共通科目は、人間科学、人文科学と人間、自然・科学技術・人間、社会と人間、地域と文化、宗教と文化、演習科目、総合講義、キャリア教育関連科目、外国語からなる。

- (1) 人間科学
この分野から2単位以上を修得すること。
 - (2) 人文科学と人間
この分野から2単位以上を修得すること。
 - (3) 自然・科学技術・人間
この分野から2単位以上を修得すること。
 - (4) 社会と人間
この分野から2単位以上を修得すること。
 - (5) 地域と文化
この分野から2単位以上を修得すること。
 - (6) 宗教と文化
キリスト教文化及び諸宗教文化の各分野から1科目2単位、計2科目4単位以上を修得すること。
 - (7) 演習科目
修得すべき単位数に定めないで、必要に応じて履修すること。
 - (8) 総合講義
修得すべき単位数に定めないで、必要に応じて履修すること。
 - (9) キャリア教育関連科目
キャリア教育の分野から、職業と人生Ⅰ1科目2単位を修得すること。日本語科目分野から、日本語表現Ⅰ1科目2単位及び日本語表現Ⅱ1科目2単位を修得すること。情報科目分野から、情報入門1科目2単位、及び情報活用Ⅰ又は情報活用Ⅱのいずれか1科目2単位をあわせた、計2科目4単位を修得すること。なお、これらの科目は1年次に修得することを原則とする。また、情報活用ⅠとⅡの重複履修はできない。
ハードウェア基礎及びソフトウェア基礎の履修は、情報入門及び情報活用Ⅰ又は情報活用Ⅱの2科目4単位の修得を条件とする。
 - (10) 外国語
 - 1 英語Ⅰ～Ⅳ、ドイツ語Ⅰ～Ⅳ、フランス語Ⅰ～Ⅳ、中国語Ⅰ～Ⅳ、韓国語Ⅰ～Ⅳのいずれか4科目8単位を修得すること。
 - 2 検定により認定される。詳細は「[外国語科目の単位認定²](#)」の頁を参照すること。
 - 3 自分が選択した言語8単位修得後、3年次以降に別の言語を履修することもできる。
- (11) (1)～(10)までの上記で修得すべき単位数32単位以外に6単位以上を修得すること。

(B) 学科専門教育科目

- (1) 学科専門教育科目の各分野から、合計72単位以上を修得しなければならない。なお授業科目の履修にあたっては、「積上指定科目」の仕組みに注意すること。
- (2) 卒業論文の履修は、履修登録時において90単位以上を修得していることを要件とする（必ず4月に履修登録すること）。詳しくは、「[卒業論文³](#)」の頁を参照すること。

(C) 積上指定科目

下記（次ページ）の表の左に掲げられた科目を履修するためには、前提となる右に掲げられた科目の単位を修得していなければならない。ただし、プレテストを実施する科目については、プレテストを受験し合格した場合には、当該科目を履修することができる。

1. 前提科目の修得が履修要件となっている科目

科目名	前提科目	プレテストの有無
民法Ⅴ〔担保物権〕	民法Ⅳ〔債権総論〕 または民法Ⅰ〔民法総則・物権〕 または民法再入門	無
民法Ⅵ〔親族〕 民法Ⅶ〔相続〕	民法Ⅰ〔民法総則・物権〕 または民法再入門	無

2. 前提科目が未修得であっても、プレテストに合格すれば後継科目の履修が認められる科目

科目名	前提科目	プレテストの有無
マクロ経済学	基礎経済学	有
計量経済学	経済統計学	有
憲法Ⅰ〔人権〕	法情報学	有
刑事法Ⅰ〔刑法総論〕		有
民法Ⅰ〔民法総則・物権〕		有
憲法Ⅱ〔統治機構〕	憲法Ⅰ〔人権〕	有
国際人権法		有
メディア法		有
行政法Ⅱ〔行政救済法〕	行政法Ⅰ〔行政法総論〕	有
民法Ⅳ〔債権総論〕	「民法Ⅱ（債権各論）」 または「民法再入門」	有
民事訴訟法	手続法基礎論	有
商法Ⅰ〔商法総則・商行為法〕	企業法入門	有
商法Ⅱ〔会社法〕		有
民事執行法	民事訴訟法	有
倒産処理法		有

プレテスト

- ・プレテストは、上記科目の履修に必要な専門知識を有しているかをテストするものである。このテストに合格した者については、前提科目の単位を修得していない場合でも、後継科目の履修が認められる（経済法学科学生のみ対象）。このプレテストに合格したとしても、前提科目の単位修得が認められるわけではない。
- ・プレテストは後継科目の講義開始1回目の授業で行う。その際、公欠等の配慮は一切しない。
- ・このプレテストに合格した者は、後継科目の履修資格を有し、有効期限は当該年度内とする。

履修登録の変更

前提科目に不合格となり、かつプレテストも不合格となった者については、履修登録をしていた後継科目の単位数を限度に修正登録を認める。修正登録は、開講科目全てを対象とする。

修正登録期間

- ・前期及び通年科目：4月18日(火)～4月20日(木)
- ・後期科目：9月25日(月)～9月28日(木)

(D) その他

- (1) 『大学共通科目』及び『学科専門教育科目』で修得すべき単位110単位以外に必要となる14単位は、上記の修得すべき単位110単位として修得した授業科目以外の大学共通科目、学科専門教育科目、経済学部他学科専門教育科目、他学部他学科専門教育科目及び国際交流関係科目¹から算入できる。
- (2) ただし、他学部他学科専門教育科目及び国際交流関係科目から算入できるのは8単位までである。なお、卒業単位計算上、修得した科目の単位数を分割して算入することができる。
- (3) 他学科専門教育科目は46ページに掲載されている科目のみ、履修登録することができる。

1. 経済学部他学科専門教育科目、他学部他学科専門教育科目及び国際交流関係科目
43～48ページを参照のこと。

1. 副専攻科目

179～185ページを参照のこと。

- (4) 副専攻科目¹については、副専攻課程の履修を許可された場合には、修得した科目は全て、卒業単位の総単位に算入できる科目となる。
- (5) 4年次には、4単位以上を履修すること。
- (6) この(A)(B)(D)のことについて、「(E)卒業単位表」に分かりやすく表で示してあるので参照のこと。

(E) 卒業単位表 (卒業に必要な最低単位数)

		単 位 数				
		必 修	選 択			
大 学 共 通 科 目	人 間 科 学		2単位	} 6単位	} (注) 14単位	
	人 文 科 学 と 人 間		2単位			
	自 然 ・ 科 学 技 術 ・ 人 間		2単位			
	社 会 と 人 間		2単位			
	地 域 と 文 化		2単位			
	宗 教 と 文 化	キ リ ス ト 教 文 化				2単位
		諸 宗 教 文 化				2単位
		演 習				
	演 習 科 目					
	総 合 講 義					
	キ ャ リ ア 教 育 関 連 科 目	キ ャ リ ア 教 育	2単位			
		日 本 語 科 目	4単位			
		情 報 科 目	2単位	2単位		
外 国 語		8単位				
計		8単位	24単位	6単位		
学 科 専 門 教 育 科 目	学 科 基 礎 科 目		72単位			
	基 礎 力 養 成 科 目					
	演 習 科 目					
	学 科 コ ー ス					
	教 職 科 目					
計		0単位	72単位			
経済学部他学科専門教育科目						
他学部他学科専門教育科目						
国際交流関係科目						
副 専 攻 科 目						
計		8単位	96単位	6単位	14単位	
合 計		124単位			14単位	

大学共通計
38単位

専門教育計
72単位

(注) この14単位に、「他学部他学科専門教育科目」「国際交流関係科目」から算入できるのは8単位までである。